



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 株式会社 丸順 上場取引所 名  
 コード番号 3422 URL <https://www.marujun.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画管理本部長 (氏名) 棚橋 哲郎 (TEL) 0584-48-2832  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	11,750	0.2	819	△21.8	695	△18.4	419	1.2
2019年3月期第1四半期	11,727	4.1	1,046	45.3	853	108.5	414	99.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 740百万円(177.7%) 2019年3月期第1四半期 266百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	35.35	—
2019年3月期第1四半期	38.78	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	47,832	13,965	21.7
2019年3月期	48,605	13,261	20.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 10,356百万円 2019年3月期 9,757百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	△8.3	1,500	△35.0	1,300	△32.2	800	△32.2	67.47
通期	47,000	△6.3	3,600	△17.6	3,000	△17.1	2,000	△13.1	168.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	11,857,200株	2019年3月期	11,857,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	235株	2019年3月期	235株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	11,856,965株	2019年3月期1Q	10,686,723株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(減損損失)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では今後の通商問題の動向及び政策の動向等に留意する必要があるものの、設備投資が増加となったほか非耐久消費財及びサービス消費等の個人消費が堅調に推移したことにより、着実な景気回復を続けております。欧州では、英国のEU離脱問題及び通商問題の動向等懸念材料があるものの、雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかに回復しております。中国では政府の内需刺激策によって鉄道建設投資及び情報通信機器の生産が拡大したものの、米国の関税引き上げによる輸出の減少により、景気回復は鈍化しております。日本では人手不足の深刻化と働き方改革への対応等を背景に、企業の設備投資は堅調を維持しているほか、良好な雇用・所得環境のもとで個人消費に持ち直しの動きがみられます。

当社グループが属する自動車業界においては、タイでは、各自動車メーカーの新型モデル投入により、新車販売台数は堅調に推移しております。中国では、新エネルギー車は生産・販売ともに堅調に推移しているものの、ガソリン車においては、乗用車の販売台数減少が顕著であり、全体の販売台数は減少しております。日本では、スポーツ用多目的車(SUV)の販売が好調に推移したことに加え、軽自動車の新型モデル投入等により販売が堅調に推移し、国内新車販売台数は緩やかに回復しております。

このような状況のもと、当社グループは中長期5か年計画の2年目として、競争力基盤の確立及び財務体質の向上に努めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、11,750百万円(前年同四半期比0.2%増)、営業利益は819百万円(前年同四半期比21.8%減)、経常利益は695百万円(前年同四半期比18.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は419百万円(前年同四半期比1.2%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### (丸順)

丸順においては、主要客先向け自動車部品の生産が増加したほか、エンジニアリング事業においても専用設備の販売が増加したことにより、売上高は増加いたしました。また、継続的な原価低減活動及び間接部門における要員適正化の取組み等により利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は4,328百万円(前年同四半期比29.8%増)、経常利益は939百万円(前年同四半期比28.2%増)となりました。

#### (タイ)

タイにおいては、主要客先向け自動車部品の生産が減少したほか、エンジニアリング事業においても専用設備の販売が減少したことにより売上高は減少したものの、要員削減及び経費削減等の継続的な取組みのほか、償却負担が減少したことにより、利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は2,086百万円(前年同四半期比7.9%減)、経常利益は49百万円(前年同四半期は7百万円の経常損失)となりました。

(広州)

広州においては、主要客先の生産車種切り替わりに伴う受注部品の減少及びその他客先の自動車部品の生産が減少となったほか、円高による為替影響により売上高は減少いたしました。また、現地調達化推進による外注費削減及び経費削減等の原価低減に取組んだものの、売上高減少により、固定費負担が相対的に増加し利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は3,517百万円（前年同四半期比24.6%減）、経常利益は49百万円（前年同四半期比89.1%減）となりました。

(武漢)

武漢においては、現地通貨ベースでは売上高は前年同期とほぼ同水準となったほか、経費削減等の継続的な取組みにより製造原価を低減し利益は増加となったものの、円高による為替影響により、邦貨ベースでは売上高、利益ともに微減となりました。

以上の結果、売上高は2,511百万円（前年同四半期比3.8%減）、経常利益は219百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における資産総額は、47,832百万円となり、前連結会計年度末と比較し、772百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金や受取手形及び売掛金等の流動資産が1,624百万円減少、建物及び構築物や建設仮勘定等の有形固定資産が929百万円増加したことが要因であります。

負債総額は33,866百万円となり、前連結会計年度末と比較し、1,477百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が591百万円減少、その他流動負債が648百万円減少、長期借入金が293百万円減少したことが要因であります。

純資産は13,965百万円となり、前連結会計年度末と比較し、704百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が383百万円増加、為替換算調整勘定が214百万円増加、非支配株主持分が105百万円増加したことが要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月26日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,578	8,945
受取手形及び売掛金	11,808	10,564
有価証券	200	200
商品及び製品	363	386
仕掛品	2,467	2,760
原材料及び貯蔵品	777	735
その他	802	782
貸倒引当金	△60	△61
流動資産合計	25,937	24,313
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,666	5,168
機械装置及び運搬具（純額）	5,277	5,436
工具、器具及び備品（純額）	5,796	5,668
土地	611	624
リース資産（純額）	690	658
建設仮勘定	3,959	4,374
有形固定資産合計	21,002	21,931
無形固定資産	206	209
投資その他の資産		
その他	1,465	1,384
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,458	1,377
固定資産合計	22,667	23,518
資産合計	48,605	47,832

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,292	5,700
短期借入金	13,213	13,264
リース債務	281	263
未払法人税等	201	158
賞与引当金	131	219
その他	3,965	3,316
流動負債合計	24,084	22,924
固定負債		
長期借入金	9,866	9,572
リース債務	168	121
退職給付に係る負債	1,072	1,094
資産除去債務	152	153
その他	0	0
固定負債合計	11,259	10,941
負債合計	35,344	33,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950	1,950
資本剰余金	1,794	1,794
利益剰余金	4,586	4,969
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,331	8,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59	54
為替換算調整勘定	1,416	1,630
退職給付に係る調整累計額	△48	△43
その他の包括利益累計額合計	1,426	1,642
非支配株主持分	3,503	3,609
純資産合計	13,261	13,965
負債純資産合計	48,605	47,832

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	11,727	11,750
売上原価	9,878	10,135
売上総利益	1,849	1,615
販売費及び一般管理費	802	796
営業利益	1,046	819
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	1	1
債務勘定整理益	—	22
その他	3	6
営業外収益合計	15	42
営業外費用		
支払利息	140	129
株式交付費	17	—
為替差損	43	21
その他	7	14
営業外費用合計	209	165
経常利益	853	695
特別利益		
固定資産売却益	4	0
特別利益合計	4	0
特別損失		
減損損失	52	—
特別損失合計	52	—
税金等調整前四半期純利益	805	696
法人税等	259	237
四半期純利益	545	459
非支配株主に帰属する四半期純利益	130	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	414	419



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	545	459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△4
為替換算調整勘定	△283	280
退職給付に係る調整額	1	5
その他の包括利益合計	△278	281
四半期包括利益	266	740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220	634
非支配株主に係る四半期包括利益	46	105

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

当社は、2018年5月25日開催の取締役会決議に基づき、2018年6月11日付で、公募増資による新株式1,200,000株の発行及び東プレ株式会社を割当先とする第三者割当増資による新株式300,000株の発行を行いました。この結果、前第1四半期連結累計期間において資本金が752百万円、資本準備金が752百万円増加し、前第1四半期連結会計期間末において資本金が1,950百万円、資本剰余金が1,774百万円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間  
(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	丸順	タイ	広州	武漢	
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	3,082	2,179	4,079	2,386	11,727
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	252	87	584	223	1,147
計	3,334	2,266	4,664	2,610	12,875
セグメント利益又は損失(△)	732	△7	448	221	1,395

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,395
セグメント間取引消去	△65
子会社配当金	△482
その他の調整額	5
四半期連結損益計算書の経常利益	853

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「タイ」セグメントにおいて、撤退に伴い売却が見込まれる建物及び土地等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、前第1四半期連結累計期間において52百万円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社の連結子会社でありました株式会社ホンダ四輪販売丸順は、2018年3月30日付で全株式を譲渡し2018年3月31日をみなし売却日として連結の範囲から除外しているため、前第1四半期連結会計期間より、従来「四輪販売」として記載していた報告セグメントについては、報告セグメントから除外しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	丸順	タイ	広州	武漢	
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	4,105	2,044	3,310	2,290	11,750
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	223	42	206	220	693
計	4,328	2,086	3,517	2,511	12,444
セグメント利益又は損失(△)	939	49	49	219	1,257

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,257
セグメント間取引消去	△41
子会社配当金	△563
その他の調整額	43
四半期連結損益計算書の経常利益	695

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(減損損失)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	金額 (百万円)
タイ王国アユタヤ県ナコー ンルアング郡	売却予定資産	建物及び土地等	52

当社グループは、セグメント別を基本とし、内部管理上採用している区分を基礎として資産のグルーピングを行い、売却予定資産については予定される取引ごとにグルーピングを行っております。

正味売却価額が帳簿価額を下回った売却予定資産については、帳簿価額のうち回収可能価額を超過した額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当資産グループの回収可能価額は、主に正味売却価額により測定しており、正味売却価額は売却見込額により評価しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。